



幼

い頃、天明鋳物は高価なものというイメージで全く興味がなかったという藤掛さん。しかし、平成の初め、ふるさと創生1億円事業で芦屋釜の復興に力を入れていた福岡県芦屋町の議員が佐野市を訪問した際、若林鋳造所の若林秀真さんが朗々と天命釜の説明をする姿に感激して以来、公私共に親交を深め、それがきっかけとなり副代表を務めることになったそうです。

佐野市出身の天台宗京都大原三千院・門跡第六十一世門主・故小堀光詮さんともご縁があり、長く親交を深め、2011年3月に藤掛さんの退職を機に何か寄進したいと提案し、佐野市のブランドである天命鋳物の梵鐘を奉納することを決めたそうです。もちろん作者は若林秀真さんです。内側に薬師瑠璃光如来功徳経が鋳込まれた梵鐘は三千院宸殿（本堂に当たる）の回廊に奉納されており、重要な法要の際に

天命鋳物がつないだご縁

キラリ話題の人

藤掛 正男さん

・天命鋳物伝承保存会副代表 山形町



▲平成22年頃の藤掛正男さん（左）、小堀光詮さん（中央）、若林秀真さん（右）

音を響かせるそうです。その響きは大原の大地と佐野の地をつないでいるようにだと、今は亡き光詮さんをしのぶように藤掛さんは穏やかな面持ちで話してくださいました。

「天明鋳物の技を千年先まで伝えるために、また、たくさんの人に受け入れられるように啓発していきたい。そして、若い人のアイデアを生かしていきたい」と天命鋳物伝承保存会の副代表として熱く語る姿に意気込みを感じることができました。

（市民記者 中里聖子）



▲回廊に奉納された梵鐘

ようこそ 市長室からこんにちは！

寒さの中にも、少しずつ春の気配を感じる季節になりました。節分や立春など、暦の上では春を迎える2月。新年に向けて準備を進める方も多い時期ではないでしょうか。

本市も、市民の皆さまの暮らしを支えるため、「物価高騰に対応した支援策」の準備を進めております。

現在、全国的に続く物価高騰の影響で、電気代や食料品など、生活にかかる負担が大きくなっています。そのような中で、本市においては、「おこめ券」の配布ではなく、食料品や生活品の購入など幅広く利用できる地域通貨「さのまるペイ」8千円分を、全市民を対象に給付する方針としました。さらに、現金をチャージして「さのまるペイ」を利用した方へ、利用額に応じたプレミアムポイントも付与いたします。

そして、全国的に話題と

なっている給食費無償化につきまして、本市では国や県と連携しながら市立小学校、中学校および義務教育学校の給食費を無償化し、保護者の皆さまの負担軽減を図ってまいります。

その他、省エネ家電購入支援やネット・ゼロ・エネルギーハウス化支援を継続し、生活者支援に取り組むとともに、温室効果ガスの削減による市内のカーボンニュートラルの促進を図ってまいります。

市民の皆さまの暮らしに安心とゆとりを少しでも感じていただけるよう、これらの取り組みについて詳細を精査し、今月開会の市議会定例会へ関係する予算案を提出いたします。

新年度に向けて寒暖差が激しくなるこの季節は、体調を崩しやすい時期でもありますので、どうぞ体調にはお気を付けてお過ごしください。

佐野市長
金子 裕





武力で平和は守れない 映画上映会「荒野に希望の灯をともし」

12月7日(日)、葛生あくとプラザで「男女共同参画ネットワークさの」の研修会・映画「荒野に希望の灯をともし」の上映会が開催されました。アフガニスタンとパキスタンで、病や貧困に寄り添い続けた中村哲医師の活動を記録したドキュメンタリーです。

上映後には、中村医師の生き様を21年間にわたりカメラに記録し続けた谷津賢二監督のアフタートークがありました。谷津監督は足利市出身で、祖父が佐野で生まれ育ったことから、子どもの頃から佐野にはなじみが深いことや、中村医師は田中正造の名をよく口にしていたこと、アフガニスタンでは子どもや女性どころか人としての人権などなく、生きることが最優先の環境であることなど、谷津監督の誠実なお人柄が伝わるお話は、静かに私たちに響き、豊かな日本に暮らしていることを、あらためて考えさせられる時間となりました。

中村医師が田中正造を尊敬していたことや、中村医師の活動を記録してきた谷津監督が佐野にゆかりがあることを大変誇りに感じました。(市民記者 永倉文子)



- ①映画チラシ
- ②中村医師(左)と谷津監督(右)
- ③谷津監督による講演



「いちご一会、魅力のとちぎ」をテーマに開催

第11回栃木県フェア

1月8日(木)から12日(月祝)まで、イオンモール佐野新都市にて、県内各地の魅力を一堂に集めた「栃木県フェア」が開催されました。

会場には、栃木県が57年連続生産量日本一を誇る「いちご」をはじめとした栃木県産の農産物や特産品の販売、各市町の観光や文化を紹介するブースが並び、多くの来場者でにぎわいました。

栃木県フェアを通して、豊かな自然や食、ものづくりの魅力を身近に感じられる機会となり、県内外に向けた魅力発信の場として大きな盛り上がりを見せました。



イオンモール佐野新都市で同日開催！ 郷土芸能フェスティバル&天明鋳物 PR イベント

1月18日(日)、「第36回佐野市郷土芸能フェスティバル&天明鋳物PRイベント」がイオンモール佐野新都市1階セントラルコート・専門店正面入口前駐車場で開催されました。

郷土芸能と天明鋳物の「佐野で育まれ継承されてきた存在」という共通点を掛け合わせ、市内外の方々に佐野の伝統・郷土文化に触れていただくことを目的に開催されました。

佐野市郷土芸能保存会連絡協議会所属の6団体が郷土芸能を披露し、来場者は佐野の伝統文化に魅了されました。

また、天明鋳物PRイベントでは、天明鋳物の体験型ワークショップが行われ、オリジナル作品を懸命に作り上げる様子が印象的でした。